

平成28年度 第1回 甲賀市学校給食センター運営委員会 結果

平成 28 年 7 月 28 日 (木) 13:30～14:50
甲賀市役所甲南庁舎 3 階 特別会議室

出席委員 : 藤川清文委員、寺内一委員、飛知和文子委員、藤田益代委員、村山いづみ委員、
西出祐子委員、田中伸治委員、荒木勇雄委員、山元俊行委員、宇田勝弘委員、
野崎昭彦委員、隠岐良達委員、清水美由希委員、村田喜代美委員、石橋智子委員
欠席委員 : 長谷川浩代委員、古倉みのり委員
関係者 : 学校教育課 岡根 課長、岩脇課長補佐
水口学校給食センター 菅沼栄養士
東部学校給食センター 春山栄養教諭
信楽学校給食センター 増山栄養教諭
事務局 : 教育委員会 山本教育長 、島田次長 、中村次長
教育総務課 山寄課長 、森田課長補佐 、高溝主事
傍聴人 : なし

1.開会(司会:教育総務課 森田課長補佐)

黙祷

市民憲章唱和

2.運営委員会委員委嘱状等交付(山本教育長から各委員へ)

3.開会挨拶(山本教育長)

4.自己紹介

5.運営委員長・副委員長の選出【資料 P.3～7】

規則第 7 条に基づく

・委員長 藤川清文委員

・副委員長 田中伸治委員

6.議事 委員長による進行

(1)各学校給食センターの概要について【資料 P.8～10】(説明:教育総務課)

各学校給食センターの現在の配食数、最大調理能力、主食、副食、検食、職員数、配送等

委員: 検食について、コミュニケーションカードや連絡ノートは、誰かが記録されているのか。教師の当番制ならば、記入内容の質に差が生じないか。

委員: 校長が担当している。安全第一のため、一品ずつ味付け、風味の変化等を細かく記入している。

委員: 水口学校給食センターと信楽学校給食センターは、かなり古い建物のように思える。

教育総務課:

確かに老朽化が著しい。詳細は最後の議事で説明するが、水口・信楽の給食センターを統合した(仮称)西部学校給食センターの建設計画を進めている。

また、信楽は、床を水で濡らすウェット方式の古い調理場であり、西部ではドライ方式を採用し、衛生管理面を強化する。

委員：衛生管理はどのようにして保持・保証しているのか。マニュアルや検査等はどのようなものがあるか。

教育総務課：

施設衛生検査にて、マニュアル通り作業しているか、環境は基準を満たしているかなどの評価をクリアし、衛生管理を徹底している。

給食センター栄養士：

食材の搬入・調理といった工程ごとフロア、手洗いのための石鹼や消毒の状態等を毎日管理している。

(2) 食物アレルギーの現状について【資料 P.11】

アレルギーの実態(説明:教育総務課)

・アレルギーを持つ子供 259 名(全体の 2.7%)、エピペン携帯人数 42 人(全体の 0.4%)

学校給食・献立の現状(説明:給食センター)

・生きた教材となるよう一食分を考えている。

・郷土食、行事食を組み入れる。

・生活習慣病防止のため、薄味を心がける。

・旬の食材、地場産食材を積極的に使用する。

・卵、乳、小麦、甲殻類等ののアレルギー対応。

混入の可能性がある場合、保護者に通知。3 品とも食べられないことのないような献立作成。

委員：アレルギーの表は、管理指導表が出ている分だけであり、出てない分も含めると甲南中だけでも 100 人程いる。

成分表を希望する保護者に渡しているが、様式が統一されておらず、分かりにくいいため、見落としやすい。サンプルを渡しているので、保護者が見やすい成分表を作成してほしい。

教育総務課：

サンプルを確認し、検討する。

委員：管理指導表を出さない保護者は、どういった方々か。

委員：保護者自身が自分で判断するといっている。しかし、実際に保護者が見落とししたり、子どもが勝手な判断で食べてしまい、アナフィラキシー等が発生する恐れが非常に高い。

委員：食育という面を栄養教諭は子供たちへどのように伝えていっているか。

教育総務課：

毎月の献立表に、血や肉になるものを赤、力や熱になるものを黄、体調を整えるものを緑というように分かりやすく色分けする。また、余白部分に食育に関する情報を添えている。

給食センター栄養教諭：

学校で、食育に関する話の場を設けている。

(3) 給食費について【資料 P.12～15】(説明:教育総務課)

給食費の負担について

・材料費は保護者負担。基本的に口座振替で対応している。

・合併以来、幼稚園・保育園 1,800 円、小学校 3,500 円、中学校 4,000 円で統一されている。

・県内他市(平成 27 年度時点)と比較して、甲賀市の給食費は低い。

滞納について

・平成 27 年度について、383,974,550 円のうち 366,566,329 円収入され、99.6%の収納率。

- ・過年度の収納が悪い。合併以前から残っている分があり、かなり高額。
- ・年二回の滞納対策特別班により、滞納者宅へ訪問するなどして、納付を促している。
- ・今年度から保護者同意を得て、児童手当から給食費を徴収することができるようになり、活用していく。
- ・できるだけ現年の未納に対して、在学中に対応することが重要

(4) (仮称)西部学校給食センターについて【資料 P.16】(説明:教育総務課)

- ・場所:甲賀市水口町水口
- ・水口地域と信楽地域の幼稚園・保育園、小中学校に配食。
- ・最大調理能力:6,500 食
- ・建物面積:3,500㎡(東部:3,000㎡)
- ・周辺に消防、警察署、市役所等があり、災害時に対応できるように計画している。

委員:西部から信楽へは、だいぶ距離があるが、配送時間はどれくらいかかるのか。

教育総務課:

信楽専用の配送車を2台用意するが、最も遠い多羅尾小学校まで40分程かかる。

委員:調理能力について、最大調理能力が6,500とあるが、水口と信楽の最大調理能力を考えると規模が小さくなっている。

教育総務課:

現在の配食数を元に少子化と計算し、この調理能力としている。

委員:開設はいつごろか。

教育総務課:

平成30年度中に開始の予定でおすすめしている。

全ての議事を終了、閉会とする。

7.閉会挨拶(教育総務課 山崎課長)